

生きる力

第 27 号

平成 29 年 2 月 10 日
編集文責：中西秀幸
発行：(株)中西商会
〒745-0302
周南市鹿野上 3217 番地
TEL 0834(68)2106
FAX 0834(68)2103
日祝日はお休み
毎月 10 日発行予定

店頭の溝の分岐にゴミがたまり、公園や空き家の前の溝の草に枝が引っかけ溝の水があふれそうになった。ゴミを除き草を抜いた。グレーチングが上がらなくて掃除できない所は鹿野総合支所に支援を要請。すると三人の職員さんが来訪。そのスピーディーな対応はさすがでした。

サロン交流「清流の会」

地域力は住民同士の付き合い、信頼、社会参加で向上する。12月の「地域医療とまちづくりを考える」で自治医科大学の梶井英治先生はそのように言われました。その具体的な活動のひとつがサロン交流会ではないでしょうか。

そこで鹿野地域にある11のサロンの中の一つ、大地庵の「清流の会」にお話しをお伺いに参りました。応対して下さったのは、山崎治代表と森弘八重子さんです。平成15年頃、各地区の民生委員を中心にサロンを立ち上げて、一人暮らしの見守り、介護予防を地域に広げようという事業が進められました。その流れでサロンを立ち上げたそうです。活動内容は、百歳体操、交番長さんの講話、保健師さんによる血圧測定、うそ電話被害防止の為の消費生活の出前

講座などです。その案内は大地庵の約110件の全戸にチラシなどの配布で行われています。催しにもよるらしいですが、毎回十名から二十名が参加されるそうです。参加者は、65歳以上の方が中心ですが、今年の一に行われた「どんど焼き」去年の七月に開催の「バーベキュー」等では三世代交流も図っておられます。

ちなみに神主さんにも来て頂いて神事もきちんとなさる「どんど焼き」には子育てサロン「えくぼ」からも子どもが参加、合同開催の上野サロン、寿恵広クラブを含めて72名でにぎわったようです。新年会もかねての開催ですので、手づくり弁当も作られます。また、宴会の前には自主防災活動、避難所のコアプラザまで歩いてその所用時間を確認されました。

なるほど！シニアを年寄り扱いしない

シニアの方と良いコミュニケーションを築くにはコツがあるそうです。それは「年寄り扱いをしない」こと。具体的にどう年寄り扱いしないのか。そのための守るべき3力条があるそうです。「①ホメない②励まさない③年齢ではなく個性を見る」です。(シニアホームケアジャーナル)

①ホメない
例えば、お年寄りの男性との会話で、マラソンをするという話が出てきたとします。「今度の日曜日にマラソン大会に出ることになりましたね」「X「えーっ！すごいですね。そのお年で」「へえ、そんなんですか。何キロ走られるんですか？」「すごいですね。」や「そのお年で」という言葉そのものが年寄り扱いに。

②励まさない
例えば、何かの病気になられたという話だったとします。「実はちょっとたいへんな病気が見つかってね。」X「Oさんなら大丈夫ですよ。きっと大丈夫ですからがんばってくださいよ！」

③年齢ではなく個性を見る
「89歳の△△さん」ではなく、「釣りが好きな△△さん、お年はたまたま89歳」という見方をすると、その方の持っている個性に注目し、その個性を通じて会話が発展していきます。

友の会サービスを改めました。掛け金払込のための送迎もすることにしました。入会して頂き無料送迎をもっと気軽に使ってほしいからです。先日やつと新規会員の方から電話がありました。会員特典なので心づくしは無用なのですが、ご自身で漬けた沢庵を下さいました。遠慮なく美味しく頂きました。

友の会の勧誘にお伺いしたら、セーターを持って来て欲しいと言われました。早速、店まで引き返してお買求め頂きました。ご会計の時、代金と別に手間賃を払おうとされました。驚きました。無料宅配だからとお断りしました。そのご厚意を断ったことが良かったか悪かったかはわかりませんが、心が温かくなる嬉しい商いでした。



無料送迎つれづれ

1月には本町農村公園のトイレを掃除しました。時折、雪が舞う天気でしたが、仕上がりには満足。壊れていた電灯とタンク、迅速にこちらも修理して頂きましたので気持ちが良かったです。2月は総合支所前の身障者用トイレの掃除を「日本を美しくする会」方式で19日(日曜日)8時より2時間の予定で掃除します。長靴を履いてご参加下さい。お待ちしております！

鹿野を美しくする会